

『アグリコラ』、『ル・アール』に続くローゼンベルグの「収穫三部作」完結編
 約 230 個のカラフルな木製野菜コマを駆使して楽しむ経済ゲーム

ボードゲーム 『洛陽の門にて』 日本語版

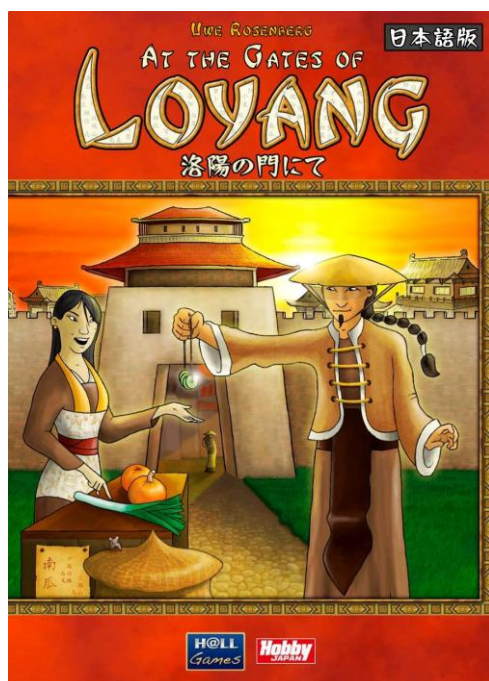
5 月中旬発売

ニュースリリース

2010 年 4 月 16 日
 株式会社ホビージャパン

輸入ゲームなどを販売している、株式会社ホビージャパン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：山口英生）は、2009 年秋のエッセンゲームショーで好評を博したボードゲーム『洛陽の門にて』の完全日本語版を、5 月中旬に発売いたします。

本作は、ウヴェ・ローゼンベルグ氏がゲームデザインをした「収穫三部作」の完結編です。前 2 作は、共に国際ゲーマーズ賞を受賞（『アグリコラ』：2008 年受賞、『ル・アール』：2009 年受賞）しており、日本語版は小社より好評発売中。約 230 個のカラフルな木製野菜コマを駆使して楽しむ経済ゲームで、前 2 作よりルールが易しくなっている点が特長です。



舞台は 2000 年前の中国

洛陽は漢の都として栄え、古代中国の四大都市のひとつに数えられていました。経済の勃興に伴い、新興の都市である洛陽は、より多くの食糧供給を必要としていました。近隣の農家が栽培した小麦・カボチャ・カブ・白菜・豆・ニラを調達して、食糧としていました。

収穫が終わると、農家は洛陽の門に集まり、野菜を売買したり交換したりします。いつものお客さんに配達したり、通行客に売ったり、市場で交換したり、種として畑に再度植えたりもできます。在庫がない野菜は商店で買うことができます。いろいろな能力をもった 20 人の助手が手伝ってくれます。

成功するのは、限られた時間で繁栄の道を最も進んだ農家です。一歩進むごとにかかるお金はどんどん増えますが、お金は投資にも必要です。農家は両方のバランスを取らなければなりません。



左のカードは商品構成上の一部です。

『洛陽の門にて』 日本語版

価格：7,980 円（本体 7,600 円）

製造元：H@ll Games

発売元：ホビージャパン

発売日：2010 年 5 月中旬予定

商品コード：4981932020617

Made in Germany

- プレイ人数：1～4 人
- プレイ時間：60～120 分
- 対象年齢：7 歳以上
- ゲームデザイナー：ウヴェ・ローゼンベルグ
- アート：クレメンス・フランツ

©Hall Games 2009

※お問い合わせは下記まで

株式会社ホビージャパン 広報宣伝課 津田 tsuda@hobbyjapan.co.jp
 TEL. 03-5304-9115 FAX. 03-5304-9318 岡村 okamura@hobbyjapan.co.jp
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-15-8 URL: <http://www.hobbyjapan.co.jp/>